

# 友情のつどい～秋～



県民カレッジ認定講座（11単位）

期 日 2019年11月9日（土）～10日（日）  
場 所 公立小川原湖青年の家  
対 象 小学生36名

ねらい ①車いす体験活動を通して、日常生活につながる**バリアフリー**の精神を養う。  
②パラリンピック種目の実践を通して、来年開催の**オリンピック・パラリンピック**について**興味・関心**を高めさせる。  
③集団生活を通して**自主・自立（自律）、協調**の精神を育み、**仲間づくり**に努める。

活 動 秋深まる11月に行いました。今回は来年開催のオリンピック・パラリンピックを見据え、次年度小川原湖青年の家で新規プログラムに採用予定のポッチャ（障がい者のために考案されたスポーツ）をメインに行いました。1日目は、東北町社会福祉協議会の松山さん、藤田さんを講師にお招きしての「車いす体験」、青森県ポッチャ協会の櫛引さんをお招きしての「ポッチャ体験」、創作活動で「粘土で金メダルづくり」を行いました。

2日目はオガワラオリンピック2019ポッチャ大会を行いました。ポッチャ経験2日間とは思えない白熱した試合が見られました。今回の体験を通して得たこと、学んだことが今後の生活に役立つことを願っています。

開講式前の自己紹介タイム。はじめは緊張した面持ちでしたが、じょじょに打ち解けてきました。



開講式 所長挨拶です。皆、姿勢を正し、真剣なまなざしで話を聞いていました。



岩手山青少年交流の家の菅野さん(左)と青年の活動協力員の竹内さん(右)にお手伝いいただきました。ありがとうございました



「車いす体験」です。講師の松山さん、藤田さんから車いすの操作や介助の仕方、ノーマライゼーションについて教えていただきました。



実際に車いすに乗ることで、足の不自由な方が移動する際、どんな場所でたいへんかわかりました。



オガワラオリンピック(造語)ということで、粘土で金メダルづくりに取り組みました。



青森県ポッチャ協会の櫛引先生です。快く「ポッチャ体験」の講師をお引き受けいただきありがとうございました。教え方が上手でわかりやすく、子どもたちの意欲的な活動につながりました。



新聞紙の上にボールが止まったら合格。なかなか難しそうです…



「ポッチャ体験」終了後の記念写真です。2日目のポッチャ大会も盛り上がりがありました。

